

申込不要、どなたでも自由にご参加いただけます。当日、会場に直接お越しください。

1/25 (SAT)

産業振興と人材育成の拠点

エス・バード

(飯田市座光寺3349-1 旧飯田工業高校)

スケジュール

13:30

学輪インターユニバーシティ“プレ”オープンキャンパス

[各コマ30分の、同時進行型講義です。エス・バード内、参加したい講義の会場へ直接お越しください。]

専門領域の研究に触れ「学び」の楽しさを感じ次の地域社会を創る力に!

学輪IIDAの豪華メンバーによる、大学の枠を越えた出張講義の「お試し版」

講義 1 : B棟 2F	B202
講義 2 : //	B203
講義 3 : //	B204
講義 4 : B棟 3F	B303
講義 5 : //	B304

3

日本漢文で考える年号「令和」
- 『万葉集』巻五「梅花歌州二首并序」から -

七田 麻美子 先生 (埼玉大学基盤教育研究センター准教授)

「令和」という年号をきっかけに日本の伝統的な文化に注目が集まりましたが、その出典がどういふものかはあまり知られていません。今回はこの文章を分析し、そこから見えてくるものについて考えてみたいと思います。

1

国連持続可能な開発目標 (SDGs) とその視点から見た地域創生

阿部 治 先生 (立教大学教授/ESD研究所所長)

4

カラスの知られざる生態とカラスとの共存を目指した市民参加型の被対策

塚原 直樹 先生 (宇都宮大学バイオインテグレーション教育研究センター 特任助教)

SDGsは、今や世界の共通言語となり、わが国でも政府・自治体、産業界、教育機関、NGO等によって取り組まれています。本講では、SDGsを紹介し、さらに飯田における地域づくりとのかかわりについてお話しします。

カラスは嗅覚が鈍く、優れた視覚に頼って餌を探しています。このようなカラスの知られざる生態に加え、カラスとの共存を目指した市民参加型の取組についても紹介します。本取組は飯田市で行った日本初の取組です。

2

川と地域経済
- 水車からみた地域産業史の旅 -

石神 隆 先生 (法政大学名誉教授)

近世から近代にかけての地域産業形成期において、自然環境の果たした役割は大きい。今回は、地形、気象と切り離せない往時の水車動力を取り上げ、地域の自然、文化、経済の関係について各地を旅しながら考えていく。

5

地域振興のツールとしての自然公園
- 国立公園・国定公園、そしてユネスコエコパーク -

土屋 俊幸 先生 (東京農工大学大学院教授)

自然公園って何でしょうか? 中央公園のような都市公園に対して、天龍峡や南アルプスが自然公園ってご存知でしたか? この講義では、住民参加型の地域振興ツールとして、自然公園を使っていこうという新しい試みをご紹介します。

14:20

学輪IIDA 高大連携の取組報告 [A棟2Fホール]

複数大学が専門領域の枠を越え飯田で学ぶフィールドスタディ

今年度は地元高校生が本格参加

学輪IIDA共通カリキュラムフィールドスタディ2019について

報告者 平岡 和久 氏 (立命館大学政策科学部 教授)
藤田 武弘 氏 (和歌山大学観光学部 教授)
國松 秋穂 氏 (飯田OIDE長姫高校商業科 教諭)

高校生参加者からの報告

関島 浩紀 氏 (飯田OIDE長姫高校 3年生) 井坪 大雅 氏 (下伊那農業高校 1年生)
菅沼 望子 氏 (飯田OIDE長姫高校 3年生) 後藤 心那 氏 (飯田女子高校 1年生)
南井 賢大 氏 (飯田OIDE長姫高校 3年生) 永山 早桜 氏 (飯田女子高校 1年生)
伊坪 星奈 氏 (下伊那農業高校 3年生)

信州大学の活動紹介

中村 宗一郎 氏 (信州大学理事・副学長/学術研究・産学官連携推進機構長)

15:40

パネルディスカッション [A棟2Fホール]

ソサエティ5.0、AI時代の到来・・・世界レベル・国レベルの大きな変化の中で私たちの地域社会はどうあるべきか?

人材育成・共創の場の在り方や可能性から飯田の、そして日本の未来を考える。

「知のネットワークの活用による真の地方創生の実現に向けて」

コーディネーター 廣江 彰 氏 (東京家政学院大学 学長)

パネリスト 井上 隆信 氏 (豊橋技術科学大学 副学長)
藤田 武弘 氏 (和歌山大学観光学部 教授)
萩本 範文 氏 (南信州・飯田産業センター 専務理事)

17:30

学輪IIDAメンバーとの交流会 参加費用: 3,000円 (エス・バード内会場にて当日受付します)